

2年総合的な探究の時間 課題研究発表会実施

今年度、「PEP:考え、調べ、発表し」(PEP:フランス語の Penser考える Enquêter調べる Présenter発表する の頭文字をとったもの)をスローガンに、総合的な探究の時間に取り組んで来ました。その集大成として、2年生は、1月27日(木)、各自が見つけたテーマを探究した課題研究の発表会を実施しました。クラスも、選んだテーマの分野も関係なくグループを作り、発表を行いました。

自分の興味関心と向き合い、調べ方を調べ、調査やインタビューを行い、まとめ、発表しました。生徒は、楽しさを味わうと同時に、大変さを感じたようです。今後は、うまくいかなかった点や不足しているところを改善し、様々な探究や発表の機会に生かしてってもらいたいです。以下、各クラスから一名の感想レポートです。

1組 藤澤みのりさん

佐々木怜さんと一緒に、「スポーツと成長」をテーマに、「子どもが運動するメリット」「競技を始める適正年齢」「障がい者スポーツの普及」に焦点をおき、インターネットで調べたりインタビューしたりしました。子どもが運動するメリットは、身体的、精神的成長を促すことです。オリンピックに出場した選手は、競技を始めた年齢は平均13歳ですが、パラリンピック選手は平均23歳とパラリンピックでは始める年齢は関係ないと分かりました。障がいのある人が週1でスポーツをする割合は、障がいのない人に比べ半分以下です。特別支援学校の運動部の設置率も約40%と低い状態です。私たちはふれあいランドの職員の方に「障がい者スポーツの普及」についてインタビューしました。「障がい者がスポーツをする施設、機会を増やすこと」「やる気を出させること」「もっと多くの人が障がい者スポーツについて知ること」が大切と話していました。運動することは成長を促す大切なことなので、障がいのある人にも普及していきたいと思いました。調べた私たちから運動するメリットや障がい者スポーツについて周りの人たちに広めたいと思います。

2組 高橋春菜さん

課題研究に夏休みから取り組んできました。何を研究するかを考えることから始め、どのように調べるか、何を一番伝えたいかなど、様々なことを考え計画してきました。私は2人の方にインタビューをしました。誰にインタビューするか決め、アポを取り、インタビュー内容を考え、実施するところまで全て一人で計画し、やらなければなりません。約半年間取り組んできた研究の発表では、全く違う分野の研究をした人たちが1つのグループとなり、そのグループ内での発表となりました。自分とは違う分野だからこそ、新しいことを知れたり、調べ方の違いなどを学ぶことができたりし、とても勉強になりました。自分が研究したことは進路や将来に役立つかもしれません。たくさんのことを学び、経験できました。

3組 阿部彩夏さん

私は、給食と食品ロスの関係について調べました。色々ところで食品ロスが問題になっているのを目にして気になったのと、将来学校給食にかかわる仕事がしたいと考えているので、2つを絡めて調べてみることにしました。探究を進める中で、小学校で栄養士をしていた方に実際にお話を聞く機会があり、今まで知らなかったことをたくさん聞くことができました。発表会では、自分とは全然違うテーマの発表を聞き、初めて知ることがたくさんありました。特に印象に残っ

ているのは、盛岡で栽培されている「アロニア」についての発表です。近くのものでも全然知らなかったので興味が湧きました。この探究学習を通して自分が調べたことや、他の人の発表から学んだことを今後生かしていきたいと思います。

4組 八重樫元輝さん

夏休み明けくらいから本格的に始まった課題研究のテーマを私は「スマホのデメリット」と決定しました。スマホを使用する時間や機会がかなり多くなってきたりしているなかで、スマホが余暇を楽しむ域を超えてきていると感じたからです。やはり社会の中でもこの問題に関して注目している人が多く、たくさんの論文や本がありました。その中でも以前から名前を耳にしていた『スマホ脳』をぜひ読みたいと思い、研究材料としました。さまざまな観点でスマホが与える影響について語られたこの本の内容をつまみ出してメモしていきました。その結果たくさんの情報が集まりましたが、それをまとめるのが大変でした。観点別にまとめても、情報を単発でつたえることになり、一連の流れがないため、記憶に残りにくいまとめ方になった気がしています。今後もこういった機会を使って人に分かりやすい発表ができるように練習したいと思います。

5組 新谷沙絵さん

私たちは夏休みから課題研究のテーマを考えて、今まで探究に取り組んできました。最近知りたいことをネットで何でも調べられるような時代になりましたが、自分が知りたいと思ったことをネット以外にも本や論文を見たり、アンケート調査をしてみたり、それをもとに考察してみたりなど、ただ調べるだけでなく、自分が将来就きたい職業に関して、興味関心を持ったこと、身近な問題などを探究し、自分たちの知識の幅を広げる活動ができたと思います。また、レポートの発表の仕方にも個性があふれていて、発表を聞いて、今まで興味がなかったことに興味が湧いたという人や、新しいことを知れたという人も多いと思います。自分が調べたことに少しでも興味を持ってもらえるような伝え方も学ぶことができ、2学年全員が有意義な探究・発表の時間を過ごせたと思います。

6組 齋藤涼帆さん

「チーム医療を構成するメリットは何か」をテーマに調べました。将来、医療系の仕事に就きたいと考えているので、自分がチームの一員として活動するときに役立てたいと思い調べました。調べていく中で、仮説とはちがう結果がでてきたりしておもしろかったです。例えば、チーム医療はほぼメリットで、デメリットは特にないのかなと思っていましたが、患者さんに対する医療についてはメリットが多いけど、スタッフ側からは、意見の食い違いなどデメリットが多く上げられました。発表会では、他のクラスの人たちとグループを組んでの発表だったのでとても緊張しました。他の人が調べた内容を聞いて、自分にはない着眼点や発想から探究を深めていてとても楽しかったし、知識を広げることができました。どの発表も興味深くて、他の人のレポートもたくさん見てみたいと思いました。



